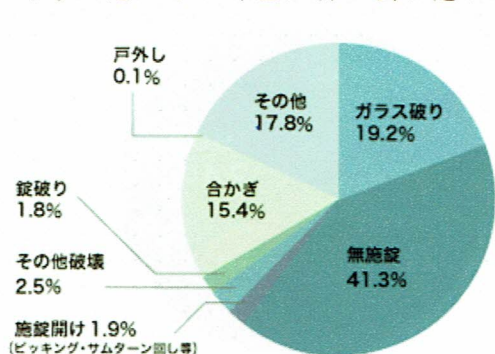
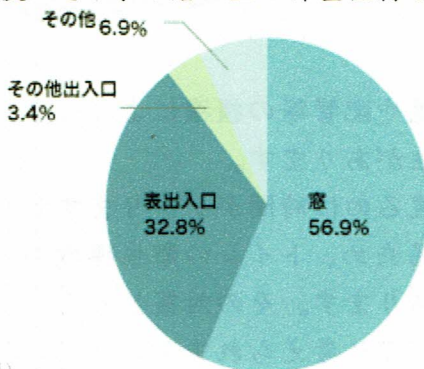


マンションセキュリティ

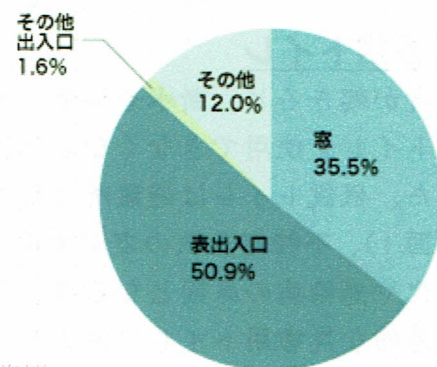
2015年にマンションで起きた侵入窃盗事件のうち、最も多い侵入手段は「無施錠」、次に多いのが「ガラス破り」です。3階以下の部屋は約6割が窓から侵入され、4階以上の部屋は約5割が表出入口から侵入されています。



(出典：警察庁統計資料)



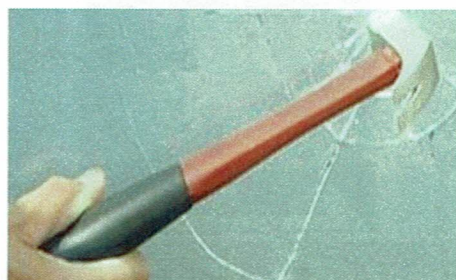
(出典：警察庁統計資料)



(出典：警察庁統計資料)

1. 防犯フィルム

防犯フィルムとは、防犯を目的とした窓ガラス等に貼り付ける透明なフィルムです。



特徴：防犯効果に加え、発災時に割れたガラスの飛散を防ぐ効果もあります。そのため、地震や台風の際も効果が見込めます。

※フィルムを窓ガラスへ貼る際は、管理規約や使用細則を事前にご確認ください。

防犯フィルムは飛散防止フィルムと用途が異なります。侵入行為に対して5分以上かかるものが防犯効果の高い防犯フィルムといわれています。

2. 防犯カメラ

防犯カメラ法定耐用年数は6年ですが、正常な作動やレンタル・リースの契約期間などを考慮して、5年ごとに新しいものへ交換するケースが多いようです。最新の防犯カメラは以下のような機能が付加され、機能的なレベルも向上しています。

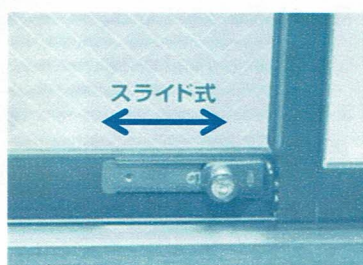
① **センサーライト防犯カメラ**：従来の防犯カメラの機能を備えた上で、220万画素で人を検知してセンサーライトが光り、夜間もセンサーライトが光ればカラーで撮影が可能です。消費電力は通常の赤外線カメラと同じです。

② **屋外軒下防水防犯灯 IP カメラ**：特徴は、はっきりとした220万画素で遠隔地からスマホ、iPad、PCでライブ映像監視可能です。夜間に防犯灯が点灯して街灯、威嚇、防犯の3役を果たします。



3. 窓の補助錠

窓からの侵入を防ぐ、最も手軽でかつ効果的なものが補助錠です。補助錠は上下開閉窓、連続窓など、様々なタイプの窓に対応した商品が売られています。補助錠に加えて、上記の防犯フィルムを貼ることで、より防犯効果の向上を見込むことができます。



役に立つ防災ツール

マンション住民にとって、大規模修繕と並んで大きな課題となりつつあるのが災害対策です。災害が発生して、建物の破損から上下水道などのライフラインが途絶えた場合を想定すると、衛生環境の悪化を抑える簡易トイレ、災害情報や災害に関する情報を素早く確認できるアプリがあれば、ある程度リスクを回避することができます。

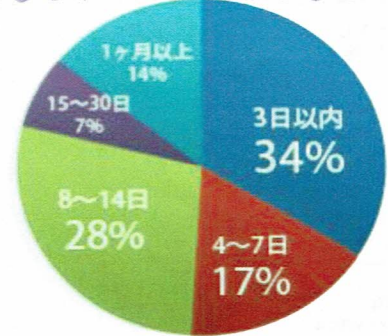
コムワン だより

H29.5.10
No.62

災害用トイレ

震災が起きると、断水や停電、水道や配管等の損壊により、水洗トイレを使用できなくなる可能性があります。

また、仮設トイレは避難所に行き渡るのに時間がかかりますし(図1)、不特定多数の方が使用するため、トイレの衛生環境の悪化や感染症の原因となる場合があります。その対策として、簡易的な災害用トイレの備えが必要だと考えられます。



(図1) 東日本大震災時、仮設トイレが行き渡るのに要した日数の割合

災害用トイレの種類



携帯トイレ

ご自宅のトイレに袋を被せ、必要に応じて薬剤を振りかけることで臭いなどを防ぐことができます。

【ポイント】

長期間の保存ができて経済的にもやさしい商品です。

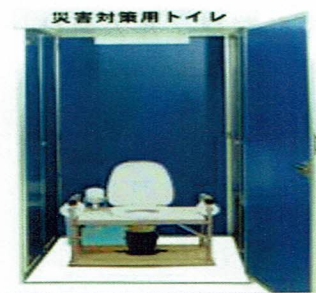


簡易トイレ(和式用)

折り畳み式の便器を和式便器の上にセットして、専用のトイレ袋を被せて使用します。

【ポイント】

仮設トイレやご自宅のトイレが破損した際に役立ちます。



マンホールトイレ

折り込んだパネルを伸ばして組立ててご使用できます。

【ポイント】

簡易水洗機能を備えており、汚れを抑え、長期的に衛生状態を維持することができます。

防災アプリ

日常的に携帯しているスマートフォンは災害発生時も大いに役立ちます。多くの機種に対応する無料アプリを紹介いたします。



出典: Google Play

【Yahoo!防災速報】

避難情報、地震、津波や土砂災害など多くの情報が提供されます。

スマートフォンで情報収集したい方におすすめです。



出典: Google Play

【ゆれくるコール】

機能は主に緊急地震速報と地震の詳細情報を通知できます。多くの方がインストールしており信頼できるアプリの一つと言えます。



CommunityOne